

**「安全な暮らしをつくる新しい公／私空間の構築」
研究開発領域
提案書作成の留意点**

平成28年度 募集説明会



科学技術振興機構

選考の流れ

提案書受付期限	<u>6月16日(木)正午 <厳守></u>
書類選考	6月～8月
書類選考の結果通知	面接選考会の1週間前までに連絡(予定)
面接選考会	<u>8月30日(火)</u>
面談(採択条件の説明)	9月7日(水)～9日(金)
選考結果の通知・発表	9月中(予定)
研究開発の開始	10月1日(土)(予定)

※ 受付期限と面接選考会は確定していますが、他の日程は今後変更となることもあります。

全体的な留意事項

- 領域目標の達成に資する提案を求めています。提案が、領域の目標や取り組みにどのように貢献しうるのかを検討し、それがより伝わる記載をお願いします。
- 特に、募集要項の以下をよく読んでから作成してください。
 - ✓ 募集・選考にあたっての領域総括の考え方 (pp.7,8)
 - ✓ 研究開発領域の目標 (p.10)
 - ✓ 選考にあたっての主な評価項目 (pp.17,18)
 - ✓ 提案書の記載要領 (pp.67-80)
- 募集するのは、**研究開発プロジェクト**です。
 - ※ プロジェクト企画調査は募集を行いませんので、ご注意ください。
- 応募は、**e-Rad**により行っていただきます。(pp.50-65)

研究開発プロジェクト (p.13)

- 本領域の目標達成に向けて、「3. 取り組むべき研究開発プロジェクトのテーマ、要素」(pp.10-12)に掲げた3つのアウトプットを目指す研究開発プロジェクトを推進しています。
 - ① 社会システム・制度の創生と伝承
 - ② 配慮が行き届き適切に介入・支援をする社会技術の創出
公／私が協力する仕組み“間”
 - ③ 情報通信技術等の利活用による新たな支援機能の構築
- 予算規模(直接経費): 1課題 数百万円から30百万円以下/年
- プロジェクトの期間: 原則として3年以内
- 採択にあたっては提案内容の一部見直しを条件とする場合があります。
- 3年度目に評価を行い、実装段階にあるプロジェクトや自律的実装の可能性の高いプロジェクトを最長1年間延長する場合があります。

プロジェクト企画調査 (pp.13,14)

- プロジェクト提案のうち、優れた構想ではあるものの、有効な提案とするには更なる検討が必要なものについて、具体的なプロジェクト提案を検討するための支援を行います。

 - ※ 企画調査としての募集は行わず、研究開発プロジェクト提案をプロジェクト企画調査として採択する場合があります。
 - ※ 次年度に再度、研究開発プロジェクトの提案として応募することが期待されます。
- 予算規模(直接経費): 1課題 **3百万円以下**

 - ※ 短期間の調査のため、物品費、設備備品費、常勤雇用の人件費は計上できません。
- 企画調査の期間: **半年以内**

提案書作成の留意事項

表紙 (p.67)

- 表紙はA4・1枚です。
- すべての項目を漏れなく記入してください。
- 「プロジェクト名」に副題はつけないてください。
- 「研究開発期間」は最長3年間としてください。
- 「総研究開発費」は直接経費のみで、研究開発期間の総額を記載してください。

【様式1】要旨 (p.68)

- 【様式1】と【様式2】をあわせて「提案の要旨」とし、抜粋して使用する場合があります。構想の全体が伝わるようにまとめてください。
- **A4・1枚以内**で簡潔に記載してください。
- 「キーワード」は、独自に設定してください。
 - ✓ 3～5つ以内で単語にしてください。

【様式1】要旨 (p.68)

<達成目標>

- **400字以内**で以下の2点を盛り込み、何を指すプロジェクトなのかが分かるよう、簡潔に記載してください。
 - ① プロジェクトが中・長期的に目指す目標
 - ② ①の達成のためにプロジェクト期間内に達成する目標

<構想の概要>

- **【様式3】「研究開発プロジェクトの構想」(p.66～)の要点を簡潔かつ明確に記載してください。**
 - ✓ どのような問題を扱い、どう解決しようとしているのか
 - ✓ 背景や成果の社会実装・普及に向けた展望等

【様式2】要旨(実施体制) (p.69)

- 【様式2】は、【様式4】実施体制の概要となります。
- 実施体制・役割が簡単に分かるよう、A4・1枚で図示してください。
 - ✓ グループは1つでも構いませんが、協働体制や各実施者の役割が分かるように工夫してください。
 - ✓ 実施者以外の協力者がいる場合は、協力者との関係も記載してください。
- 各グループにどのような立場(産学官市民、研究分野)の実施者が属するか、どのような協働体制を想定しているのかが分かるよう記載してください。

- 大学等(自然科学系(医学・工学等含む)) → 学(自)
- 大学等(人文・社会科学系) → 学(人)
- 大学等(両方にまたがる場合) → 学(自/人)
- 自治体等の行政機関や司法機関等 → 官
- 企業等の産業界 → 産
- NPO等 → 市民

RISTEXの研究開発では、具体的な問題解決や成果の社会実装を重視しています。そのため、研究者だけでなく、実装に向けた多様な関与者の協働を求めています。

【様式3】構想 全体 (pp.70-72)

- 【様式3】は全体で、**A4・10枚以内**としてください。
- 募集要項の次の内容を踏まえて、**項目A～E**を記載してください。
 - ✓ **Ⅱ. 募集・選考にあたっての領域総括の考え方** (pp.7,8)
 - ✓ **Ⅲ. 研究開発領域の概要** (pp.9-15)
 - ✓ **Ⅳ. 選考及び採択** (pp.16-18)
- 評価者が理解しやすいように記載してください。
 - ✓ 必要に応じて図や表も用いてください。
- 次スライド以降に記載した要点を明確に記載してください。

【様式3】構想 A.必要性とビジョン (p.70)

A-1. 解決すべき問題及びプロジェクトの必要性

- 提案の対象とする私的な空間・関係性で起きる安全・安心上の解決すべき問題は何か。具体的な原因やボトルネックは何か。
- 類似の取り組みや政策・施策、研究等では、なぜ問題解決できないのか。国内外の研究開発やRISTEXの研究開発などの動向とその課題を整理した上でのプロジェクトの意義。

【様式3】構想 A.必要性とビジョン (p.70)

A-2. 目指すビジョン

- プロジェクト終了後も含めて、どのような成果が、誰(人・組織等)に活用され、どのように社会が変容し、安全な暮らしにつながると考えているのか。
- プロジェクト実施期間に限らない、中長期的な展開・展望(～5、10年)も含めた目指すところ(問題解決や社会の変容)。

【様式3】構想 B.具体的な計画 (p.71)

B-1. 目標及び成果

- 研究開発期間(最長3年)内に達成しようとする具体的な目標・成果
 - ✓ 「A. 必要性とビジョン」を受け、プロジェクト実施期間中に何を、どこまで達成しようとするのかを具体的に記載してください。
 - ✓ 定量的な目標設定が可能なものについては、可能な限り提示してください。
- 活動や成果物(アウトプット)だけでなく、活動や成果物の結果によるアウトカム(社会への影響・効果)

【様式3】構想 B.具体的な計画 (p.71)

B-2. 実施内容、マイルストーン

- 「B-1. 目標及び成果」に向けて、どのような問題の関与者と、どのような方法で、何をするのか(実施項目)を具体的に記載。
- 「B-3. スケジュール」に記載する実施項目の内容・計画及び実施項目間の関係性が分かるように記載。
- 各実施項目について、いつまでに何を達成するのか、マイルストーンを記載。
- 克服すべき課題や困難が予想される点、それらへの対応策。
 - ✓ ①研究開発、②社会実装の側面からそれぞれ記載
- 関与者からのフィードバックや、研究開発の節目に公表を行う等、外部から適切に意見を集め、検証・改善していく方法。

※実施項目は【様式2】要旨(実施体制)、【様式4】実施体制との整合性を図ってください。

【様式3】構想 B.具体的な計画 (p.71)

B-3. スケジュール

- プロジェクトの主なスケジュールを記載してください。
 ✓ 表形式で記載ください。

- 実施項目は「B-2 . 実施内容、マイルストーン」の内容に従って記載してください。

＜記載例＞

実施項目	平成27年度 (H27.11～ H28.3)	平成28年度 (H28.4～ H29.3)	平成29年度 (H29.4～ H30.3)	平成30年度 (H30.4～ H30.10)
1.地域の問題点・ニーズの 深掘調査	←→			
2.〇〇モデルの構築	←→	→		
3.データの取得・解析	←→	→	←→	
4.〇〇手法の開発		←→	→	
5.社会実験の実施・検証		←→	→	→
6.法制度的検討・政策提言				←→
7.成果の実装に向けた仕 組みづくり	←→	→	←→	→

【様式3】構想 C.準備状況 (p.72)

C. 準備状況

- 提案者自身のこれまでの研究開発の経緯や実践的な取り組みの成果を記載。
- 実施者間、及び、問題に取り組む関与者との関係性の構築状況を記載
- その他、予備的な知見やデータを記載。(なければ記載不要)

構想の実現性、実行性の観点から、提案者や実施者がプロジェクトに取り組むための手ごかりや足ごかりを得ていることを説明してください。

【様式3】構想 D.成果の活用・展開 (p.72)

D-1. 問題解決や成果の社会実装の道筋

- プロジェクト終了後の問題解決や社会実装の見込みについて記載してください。
 - ✓ 成果を、誰が、どのように、対象地域や他の地域、組織、制度等へ普及・展開していこうと考えているのか
 - ✓ 広く社会一般に活用できる成果や知見
 - ✓ 取り組みの持続可能性(経済効率、ニーズ等)

【様式3】構想 D.成果の活用・展開 (p.72)

D-2. 成果の波及効果

- 間接的に社会に及ぼす様々な波及効果
- 学術・研究分野への波及効果

D-3. 研究開発領域内での成果の応用(任意)

- 他プロジェクトとの協力・連携関係、補完・支援関係を構築することによる、成果の応用の可能性、領域全体への貢献の可能性についての構想

※ 記載は任意です。

事象の背景や対処策の共通点、対処を阻む共通の制度上の問題、共通の技術活用の可能性など、横断的視点を重視しています。(pp.7,8 ほか)

【様式4】実施体制 (p.73)

- 【様式4】は、【様式2】要旨(実施体制)の詳細となります。整合性を持たせてください。

1. マネジメント体制

- 研究代表者と共にプロジェクトを支えるマネジメントの体制について簡潔に説明し、担当者を表に記載してください。

研究代表者とマネジメント体制に求められるもの
(pp.12-13、pp.20-21)

- 多様な実施者や協力者との協働によるプロジェクトの運営
- 領域活動との協働（調整、イベント参加、他プロジェクトの協力・連携など）
- 成果のとりまとめ、効果的な発信 など

【様式4】実施体制 (p.73-74)

2. グループごとの概要

- 研究代表者が率いるグループを「2-1」に記載し、複数グループがある場合は、「2-2」「2-3」・・・と追加してください。
※ 複数グループがない場合は、「なし」と記載ください。

(1) 実施項目

- 様式3のB-3「スケジュール」に記載した実施項目の中から記載

(2) プロジェクトにおける本グループの位置づけ

- 位置づけ、役割、他のグループとの関係性を簡潔に説明

(3) プロジェクトの実施者

- 実施者は、複数グループに所属可能

(4) グループへの協力者

- 協力を得ることが了解されている人や団体のみ記載
- 実施者と協力者との間の、これまでの協力関係の有無を記載

【様式5・6】関連する取り組みリスト (p.75,76)

- 1人につき、A4・1枚で記載してください。

<主要な実績>

- 研究業績だけでなく、問題解決のための実践的な取り組みに関する成果も記載してください。
- 提案内容に関連するものを、5件以内にしてください。

<RISTEXにおける研究開発への参画経験>

- 領域(プログラム)名、プロジェクト名、研究代表者名を記載し、自身がどのような役割を担っていたのかについて簡潔に記載してください。

【様式7】研究開発費の見込み (p.77)

- 費目別の研究開発費(直接経費)の見込みを年度ごとに記載してください。
- 面接選考の対象となった場合には、機関ごとのものなど、さらに詳細な計画を提出していただきます。
- 採択後に研究開発費の見直しをお願いすることがあります。
- 特定の費目が総額の50%を超える場合は、その理由を「特記事項」に記載してください。

【様式8】他制度での助成の有無 (pp.78,79)

- 研究代表者及びグループリーダーが現在受けている、あるいは申請中・申請予定の助成等について記載してください。
 - ✓ 国の競争的資金制度
 - ✓ 民間の助成金 など
- 記入内容が事実と異なる場合には、採択されても後日取り消しとなる場合があります。
- 面接選考の対象となった場合には、最新の他制度の助成状況を提出していただきます。

【様式9】特記事項 (p.80)

- A4・1枚以内で記載してください。
- 応募にあたっての理由や希望、その他、様式1～8に記載できなかった内容などを記載してください。
- 以下に該当する場合は、記載してください。
 - ✓ 海外の機関に所属する方が、海外の機関を拠点に実施者として参加される場合。
→ その理由・必要性を記載してください。
 - ✓ 研究代表者が、現在、国内の特定の法人に所属しておらず、採択された場合に国内の法人に所属する予定がある場合。
→ 事情を記載してください。
- 特に記載すべき事項がない場合、空欄で提出してください。

最後に

応募締切

6月16日(木)正午 <厳守>

(e-Radでの受付期限)

たくさんのお応募をお待ちしています。